

平成28年度当初予算編成における財源不足の解消について

I 要求時点の財源不足額

247 億円 ①

要求状況公表資料の財源不足額 244 + ポストサミット 3

【歳入】

要求時点か
らの増減

(1) 地方一般財源収入(県税収入、地方交付税等)	▲ 29	(5,267→5,238)
(2) 財政調整基金の活用	26	(118→144)
(3) 退職手当債の発行	50	(0→50)
(4) 行革債、宝くじ収入等	2	(101→103)
(5) 電気事業会計・水道事業会計からの借入	55	(0→55)

歳入の増 計

104 億円 ②

<(参考)調製方針時のフレーム上の歳入 5,486億円>

【歳出】

(1) 歳出の査定・調整による減 (減の主なもの)	▲ 143	(5,733→5,590)
税関関連交付金: ▲67		
大規模臨時的経費: ▲41		
公債費: ▲24		
公共事業: ▲19		
社会保障関係経費: ▲13		
予備費: ▲0.5		

歳出の減 計

▲ 143 億円 ③

<(参考)要求時点の歳出 5,733億円>

II 歳入歳出の対策計 (②+③)

247 億円 ④

財源不足額 (①-④)

0 億円